



発行 〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号 長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合 (095)-827-5882 FAX (095)-826-2976 編集責任者 平井秀治 一部 10円

高教組メールアドレス naga-kks@fs inet.or.jp

こちら書記局

昭和30年代の教室再現

共済組合長崎支部経営の「セントヒル長崎」の宿泊利用人員は09年度9,940人から10年度10,867人(見込み)と増えている。しかし、婚礼組数の落ち込み(昨年度比22組減)が大きく、婚礼宴会利用人員も昨年度より約2,500人の減少となること予想されている。

こうしたこともあり、「赤字を計上する現在の経営体質を改善」(支部運営審議会資料)するためにさまざまな計画が進行している。その一つとして、「昔風の教室再現」で、利用者増をねらうという。廃材を使って「昭和30年代の教室」を1階ロビーにつくる。

この頃の窓は現在のフック式ではなくネジ式でグリグリ回して開閉していた。これを取り入れる。もちろん、床や壁、机、椅子などは木材である。そして何よりも興味をそそられることは、「長崎工業高校の建築科の生徒」が会場設営に協力することである。

細工は流々、仕上げを御覧じろ。期待しよう。

社会貢献活動研修の拡充と センター研修履歴の提示

高教組直ちに問題点指摘

2月5日、教育センターの副所長と企画課長が高教組の書記局を訪れ、4月からの新たなとりくみについて説明しました。その内容は、社会貢献活動研修の拡充と教職員一人ひとりのセンター研修履歴の提示というものでした。いずれも問題を含む内容となっており、今後、交渉が必要となつていきます。

対象	社会貢献活動研修の内容
初任研 教諭のみ	○地域の行事等への参加 勤務校の保護者や地域住民との連携を密にしながら、地域に貢献する活動を行うことで、地域の方の、学校への思いを知るとともに、基礎的な社会性を醸成する。(主な研修場所は、在勤地内の学校に近い地域)
2年目研 全職種	○社会教育に関わる事業等のサポート 社会教育に関わる事業等のサポートをすることで、様々な立場で教育と関わっている人の思いを知り、教育についての視野を広げる。(主な研修場所は、在勤地内) ※初任研の際の地域の行事等への参加の継続でもよい
5年目研 全職種	○教育関係以外の公的機関での業務 教育関係以外の公的機関での業務に携わり、社会の現状を身をもって体験することで、社会的な視野を広げる。(主な研修場所は、在勤地内や居住地内) ※初任研・2年目研のとりくみの継続でもよい

不祥事防止の 具体化としての 社会貢献活動

一点目の社会貢献活動研修の拡充について。

高教組指摘 校外研修の増加は多忙化の一因

高教組は、教職員の中にも、出張の多さが多忙化の一因となつていくという声があること、学校の負担の軽減策として、でも「生徒と向き合う時間」を確保することを重視している点からいって、校外での研修を増やすのは問題があると指摘しました。

これに対してセンター側は、高教組の指摘を認めつつも、議会等から不祥事対策の強化が強く求められている中で、研修

*教育センター研修について高教組は意見を伝えることを確認しています。意見を高教組に寄せてください。



"元気もらっていますよ"

伊良林園児と節分交流会

中川八幡神社に近い長崎高教組会館で2月3日、今春で5回目となる伊良林保育所園児との恒例の節分交流会がありました。写真は会館前の園児達。小森所長さんと先生に引率された年長組23人が、可愛らしく若鬼に扮装して来館「福は内、鬼は外」と大きな掛け声とともに、持参した豆袋を配ってくれました。私達も、この子らの健やかな心身の成長を祈念しました。「毎年、節分祭と七夕祭の二度の訪問、有難うございます。おかげさまで若先生・爺先生とも元気を貰っています」とお礼。初回の園児は小学4年生となり、登下校時には気持ちよく「あいさつ」を交わしてくれます。鬼遣らいの縁で二期二会となりました。(高退教 伊東正昭)

高教組指摘 履歴の校長への提示は必要か

高教組は、「履歴を校修に行っていないか」と自ら反発する教職員も多いは「主研修をしていない」と批判しました。これに対してセンターと批判しました。

疑問と批判集中

これは、12月に出された県教委の不祥事防止対策の中で、中期的な対策としてあげられていた、「社会人としての基本を培う研修と不祥事防止に関する研修の充実」を具体化したものとしています。具体的には、社会貢献活動研修を、初任研で2日拡充(合計5日)、2年目研で5日新設、5年目研で2日拡充(合計5日)するとしています。その内容は別表(上)のとおりです。

研修計画の 参考としての 研修履歴の提示

2点目は、各自の研修計画の参考にしてもらうために、教職員各自の教育センターでの研修の履歴(90年代以降をブリーフ)を提示する。

側は、「履歴はセンターでの研修に限ったもの。センター側は、校長に渡すのは、あくまでも参考として知ってもらおうのが趣旨で、研修への参加が少ないうえにこの研修に行つていないというふうには使われないよう校長会に指導すると説明しました。



片山総務大臣 「図書館は行政がスタッフを配置して運営するべき」 岡山で図書館の充実を求めて学習会

1月10日、「学校図書館・公共図書館の充実を求めよう」といふ岡山県集会所で開かれた岡山県小中高の関係者をはじめ、公共図書館の司書、各県組合から約200人が参加しました。

口加高分会 山本 みゆき

長年学校図書館の人の配置運動をリードしてきた岡山市の開催というこ

とで、特別報告「すべての子どもたちに学校図書館を」岡山市の学校図書

「専任・専門・正規の図書館充実運動のこれまでとこれから」には、学校図書館をとりまく閉塞感を払拭できる知恵を学びたいという参加者の声が多く寄せられました。

分科会では次のように確認されました。「図書館活動と子どもたち」では、公共図書館や学校図書館の実践をとおして、司書の必要性や配置について討議。

2分科会では、「住民要求にこたえる図書館活動」指定管理者制度・職員削減・非正規化のすすむ公共図書館の現状と取り組み」の報告があり、現場の厳しい状況を共有しました。

2・10春闘中央総行動 7000人参加

(右写真は要求を掲げる参加者たち)



12年間で年収61万円下がり 内部留保は244兆円に

降雪になりそうな肌寒い2月10日、「内需主導の景気回復を！」めざして「2011国民春闘中央総行動」が国会中心に取り組まれました。

日米安保の経済版がTPP

春闘共闘会議がTPP学習会

1月15日、長崎県春闘共闘会議主催によるTPP問題学習会が開かれました。

冒頭、遊説で長崎を訪れていた穀田共産党国対委員長の話がありました。

「TPPに関わるその骨子は次の通りです。①人、モノ、金のシームレス化(継ぎ目がないこと) ②規制緩和

③強い安保、強い経済 ④強い安保、強い経済 ⑤強い安保、強い経済

また、長崎県立大学名誉教授(元学副学長)の川原紀美雄氏が、「TPPとは何か?何が問題か?」と題して講演しました。

TPPに関わるその骨子は次の通りです。①人、モノ、金のシームレス化(継ぎ目がないこと) ②規制緩和

また、長崎県立大学名誉教授(元学副学長)の川原紀美雄氏が、「TPPとは何か?何が問題か?」と題して講演しました。

また、長崎県立大学名誉教授(元学副学長)の川原紀美雄氏が、「TPPとは何か?何が問題か?」と題して講演しました。

また、長崎県立大学名誉教授(元学副学長)の川原紀美雄氏が、「TPPとは何か?何が問題か?」と題して講演しました。

Q&A

※必要に応じて
職場についでど
か

学校で使っているパソコンでは、太郎など自分で買って使っているソフトは使えないのですか。

私は実習教員です。先日、教員免許更新の受講対象者ということで、資料が配られました。実習教員も講習を受けなければならないのでしょうか。受けなかつたら何か不利益があるのでしょうか。

実習教員には教員免許更新講習の受講義務はありません。希望する人は、2級格付の受講は失効しませんが、一応年齢が該当するかどうかは、県人には資料を配付しているかと説明しています。

私達は、今後、教諭の採用試験を受けることを考えている人は、採用前に更新講習を終了しないと、教諭としての採用はできないことになっていきますので、注意してください。

皆さんと手続きを注意してほしいと指導すれば使えます。県教委しているが、教材づく総務課の情報統計担当など教育活動には必要は、私のソフトについての各学校の情報セキュリティの問題とインテリジェンスの問題を説明しています。

こんな内示があつていいのかわからない。人事内示はいつなのかわからない。3月18日(金)か、怒りを覚えたものだ。また、県連休明けの22日(火)か、で



ファイナル